

陳 情 文 書 表（２５－４－その１）

- 1 受理番号 陳情第１０号 令和７年１１月１０日受理
- 2 件 名 保育士配置基準の引上げの早期完全実施とさらなる改善を求める
意見書提出を求める陳情書
- 3 陳 情 者 住 所 千葉県船橋市本町３－４－３
団体名 千葉県保育問題協議会
氏 名 会長 山本 純子

4 趣 旨

(1) 陳情の趣旨

国に対して「保育士配置基準の引上げの完全実施とさらなる改善を求める意見書」を提出してください。

(2) 陳情の理由

保育所は、子育てをささえる施設であり、幼い子どもの発達を保障し、いのちを守るために不可欠な社会的資源になっています。

保育所の機能拡充がすすむ一方で、職員配置や施設基準の改善はすすまず、職員の負担増が深刻になっています。保育所での事故が増大している状況などを踏まえれば、現在の配置基準は不十分であり、子どもの命と安全を守るためにも保育士増員が急務となっています。

国は２０２４年４月に「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」を改定し、４・５歳児 ２５人に対し保育士 １人、３歳児 １５人に対し保育士 １人としましたが、期限の定めのない経過措置が設けられています。また、１歳児の配置基準引上げ（５対１）については、法令改定はされず、２０２５年度予算に加算措置が盛り込まれましたが、要件が厳しく対象となる施設が限定されています。

すべての施設において基準以上の条件での保育を実現するために、１歳児の加算要件をなくした上で法令改定により基準を引上げること、３歳児、４・５歳児は経過措置を撤廃すること、保育士等職員の負担を軽減し、子ども一人ひとりに対してていねいなかかわりを保障するためにすべての年齢で基準をさらに改善することが、保育現場と保護者の切なる願いです。

つきましては貴議会より、国に対して「保育士配置基準引上げの早期完全実施とさらなる改善を求める意見書」を提出していただけるよう陳情いたします。

5 付託委員会 教育福祉常任委員会